

山添藤真

一般質問

『枠配分予算方式の導入を』

山添 厳しい財政状況かつ現場からの膨大な要求があるなかでは、削減を主とした予算編成を行っているかざるを得ない。予算編成をよりスムーズに進めるために枠配分予算方式の導入も視野に入れていくべきだと思う。この方式は、年度に見込まれる一般財源の予算枠をあらかじめ各課に配分し、その範囲内で各課が歳入歳出の予算を編成し、予算要求を行えば、原則として個別事務事業の査定は行わないというものである。今後、ひっ迫する財政運営の中では、そのような方式も必要になるかもしれない。現在のところ、どの課も行政課題を抱えているので、予算を枠でギョツと縛るのではなく、課題を列挙する中で、全体を見ながら優先順位や費用対効果などに配慮して配分を決めていくことの方が、より住民の理解が得られる予算となるのではないかと考えている。

『予算査定について』

山添 一般会計当初予算編成過程のなかで、企画財政課では6億5300万円の減額査定をされている。各事業課から受けるヒアリングはどの程度の時間をかけられるのか。

企画財政課長 全体としては5日ほど。予算規模によるが、半日で1課、半日で3課こなすこともある。私にはその時間と内容が適正かどうかを判断することができない。歳出抑制施策を講じていかなければならない今、有効に予算を削減していくかの視点のもと予算査定をしていかなければならない。事業課にも話を伺いたい。商工観光課長はどのように予算査定を捉えられているか。

商工観光課長 全体的な分母分子を考えた時にどうあるべきかを考えながら、総合的な考えのもと予算要求を行っている。どこを優先させていくかは所管課の技量である。

山添 有効な予算査定になるよう、財政課と事業課のコミュニケーションには十分に配慮してほしい。

『企業立地推進事業について』

山添 一企業推進事業は増額予算となっている。誘致企業との連携を行うとともに企業誘致活動を積極的に行うと計画されているが、どのような企業を誘致していくのか。

商工観光課長 地元での雇用を見込むことのできる製造業関連の企業を考えている。

山添 そのような企業誘致は難しいと思う。私は東京に本社を置く「企業への働きかけが有効だ」と思う。当町では、情報基盤の整備を推進してきたことから、町内のネット環境は非常に良い。その利点を活かして、「企業のサテライトオフィス(支所・研究所)などを誘致する戦略を立てるべきだ。徳島県神山町などではすでに成功例が出ているので、参考にしながら進めてほしい。

商工観光課長 課内での協議を進めたい。

『都市公園整備事業について』

山添 阿蘇シーサイドパーク整備計画設計審査委員会(以下…審査委員会)と当初予算で提出されている案との関係性について聞きたい。最後に審査委員会が開催されたのはいつか。

建設課長 平成24年2月24日に開催した。主に都市機能用地の整備計画について報告した。

山添 審査委員会では都市機能用地にかかる整備計画に関してどのような議論が行われたのか。また前々回の審査委員会はいつだったのか。

建設課長 手元に資料がない。

山添 審査委員会は一年以上開催されなかったと聞いている。審査委員会でも議論されることなく、本案が提出されたことには強い違和感を覚えている。現在、町では多くの審査委員会や委員会、諮問機関が組織されている。それらの組織が形骸化することのないようしなければならぬ。

平成24年度当初予算一般会計質疑

第43回平成24年3月定例会が、2月27日から3月28日の31日間にわたる会期でおこなわれました。本定例会は新年度予算を中心に、与謝野町議会基本条例、与謝野町中小企業基本条例などの審議がなされました。

ごあいさつ

新緑の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2010年4月の与謝野町議会議員選挙におきまして、多くの皆様から温かいご支援を頂き、初当選をさせて頂いてからはやくも2年の月日が経ちました。この2年を振り返ってみると、議会では、本会議・総務常任委員会・議会活性化特別委員会・広報特別委員会・宮津市中学校組合議会、団体では、社団法人宮津青年会議所・与謝野町商工会・与謝野町消防団などの活動を通じて、様々な課題解決に取り組んできました。

今後も引き続き、皆様から伝えて頂いた豊かな文化や伝統を含めた社会環境を未来へと託すことができるよう全力で活動して参ります。

皆様からのご指導ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い致します。

30歳の成人式 in 与謝野

3月24日(土)、野田川ユースセンターにおいて、全国初となる地域活性化イベント「30歳の成人式 in 与謝野—ぼくらがさわげば世界が変わる—」を開催することができました。「三十にして立つ」という節目の年に与謝野町在住及び出身の同級生が集まり、楽しみながら、町の未来について考えようという企画です。

町に残った人も就職や結婚などで町の外に出ていった人もみんなで一緒に「与謝野」を作っていこうと呼びかけました。式典後の懇親会では、再会を喜ぶ歓喜が響き渡り、これからのつながりを誓い合うなどの光景が見受けられました。

あの日、結い直された同級生のつながりが与謝野町の未来へと届くことを心より願うとともに、そうなるように行動していきたいと思えます。

与謝野町議会懇談会



3月3・10・17日、町内3会場において議会懇談会が試行的に開催されました。懇談会では、議会報告者から与謝野町議会基本条例の要点や町が抱える課題について説明がなされた後、議員と町民間で活発な議論が約2時間にわたり続けました。交わされた意見についても「議会だより」などを通じて出来る限りお知らせしていく予定です。また、今後もこの取組みは続けていきますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。



ホームページ開設のお知らせ

ホームページにて山添藤真の日頃の活動をリアルタイムでお伝えしておりますので、どうぞご覧下さい。

www.yamazoetoma.com

ツイッター [twitter.com / Toma_Yamazoe](https://twitter.com/Toma_Yamazoe)

山添藤真後援会

〒629-2263 京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地

TEL : 0772-46-2031(携帯 080-2077-4591)

FAX : 0772-46-4394

EMAIL: toma.yamazoe@gmail.com